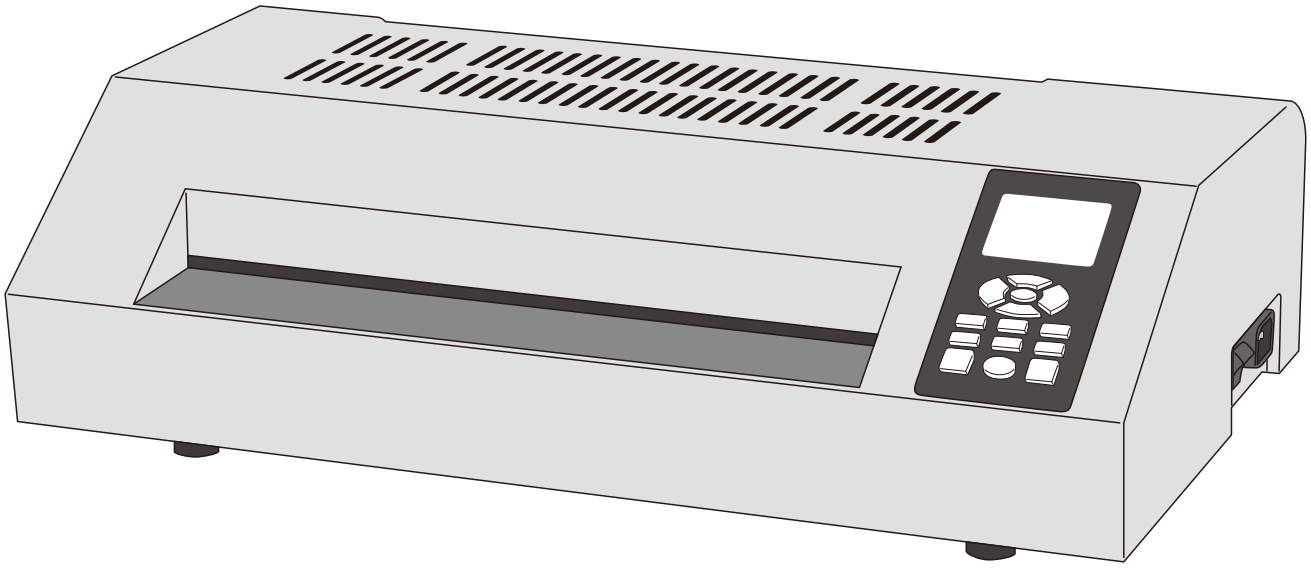
Lamipacker®

FUJIPLA

LPD3226 Meister6

取扱説明書(保証書)

この度は当社製品をお買上げいただきありがとうございました。
ご使用になる前に取扱説明書をお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
また、この取扱説明書（保証書）は大切に保管してください。



フジプラ株式会社
ホームページ　http://www.fujipla.co.jp/
ヘルプデスク
お問い合わせ　0120-227-846

この度は、ラミパッカーをお買い上げいただきありがとうございます。
本機はホットラミネート用パウチフィルム（当社商品「CPリーフ」）を使い用紙などの表面に、透明なプラスチックフィルムをラミネート（積層）する機械です。ラミネートされた紙などは、表面に光沢が出て美しくなり、耐水性、対磨耗性に優れたものとなりますが、逆に、一旦ラミネートされたフィルムは剥がすことが困難となりますのでご注意くださるようお願い申し上げます。
本説明書は必ず保管してください。

警　　告

分解禁止

巻込注意

感電注意

高温注意

⚠ ご自分では分解・改造・修理などをしないこと。万一、巻き込み等のトラブルが発生した場合は直ちに電源スイッチをOFFにして電源コードを外して販売店または当社に連絡していただき、その指示に従ってください。
⚠ ネクタイ・ネックレス等、巻き込みやすい服装は避けること。髪が引き込まれないように注意すること。
⚠ 万一、巻き込んだ場合には直ちに電源をOFFにすること。
⚠ 機械に水をかけないこと、ぬれた手で操作しないこと。
⚠ 電源コードを機械の下にはさまないこと。
⚠ 移動する時は、必ず電源コードを抜くこと。
⚠ 機械の上部面およびラミネート仕上がり品は熱くなっております。
⚠ ラミネート禁止物（次項の「対象物」を参照してください）はラミネートしないこと。
⚠ 危険物のラミネートまたは誤った操作で発煙することがあります。
⚠ 締め切った室内では、こまめに換気を行うこと。

安全取扱説明

安全にご使用いただくために、次の注意事項を必ずお守りください。

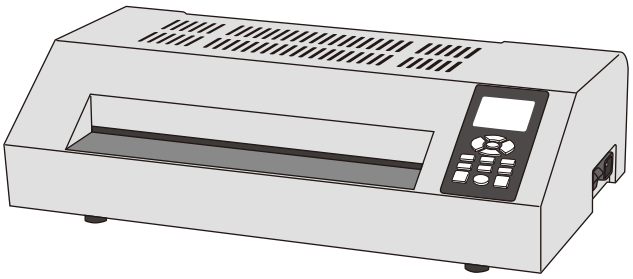
設置場所	1)湿気の多い場所、クーラーの吹き出し口近くは避けてください。電気絶縁が劣化し漏電する危険性があります。 2)本機は平らな所に設置し、フィルム取り出し口側はラミネートされたものが取り出せるスペースをあけてください。 3)本体の上に物を置かないでください。 4)電源は必ずAC100Vから取ってください。たこ足配線は絶対にしないでください。 5）閉めきった部屋では、こまめに換気を行なってください。 6）感電防止のため、必ずアースを取り付けてください。アース線を取り付ける時は電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。アース線の取り付けは電気工事店または、販売店にご相談ください。 7)延長コードは使用しないでください。 8)電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
ラミネートフィルム	必ず当社純正フィルム「CPリーフ」をご使用ください。フィルムの特性が合わないと、巻込むことがあります。
対象物	ラミネートは熱を加えて圧着していきますが、操作の手違いなどにより失敗したり、フィルムを巻き込んだりすることがあります。 次のようなラミネートはお止めください。 1)発火性の物、熱に溶けやすいもの（塩ビ、ポリエチレン等）。 2)たった1枚しかないような大切なもの。 3)フィルムを含めて1.0mm以上の厚さのもの。 4)感熱紙・クレヨンで描いた絵など熱で変色・変質するもの。
機械操作	1)機械本来の使用目的以外には使用しないでください。 2)機械操作中は機械のそばを離れないでください。
保管場所	このような場所には保管しないでください。 1)極端に湿度が高い、または低い場所。 2)ほこりの多い場所。

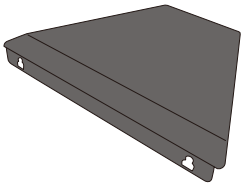
目　　次

警告……1
安全取扱説明……1
1. 内容物の確認……2
2. 各部の名称と機能……2
3. ラミネート加工上の注意……3
4. ご使用方法……4
5.モード画面と各種機能について……5
6. 電源をきる……6
7. ローラー清掃……6
8. 困ったときには……7
9. 機械仕様……7
保証規定……8

1.内容物の確認

●本体
●電源コード（電源プラグ）
●取扱説明書（保証書付属）
●リアトレー

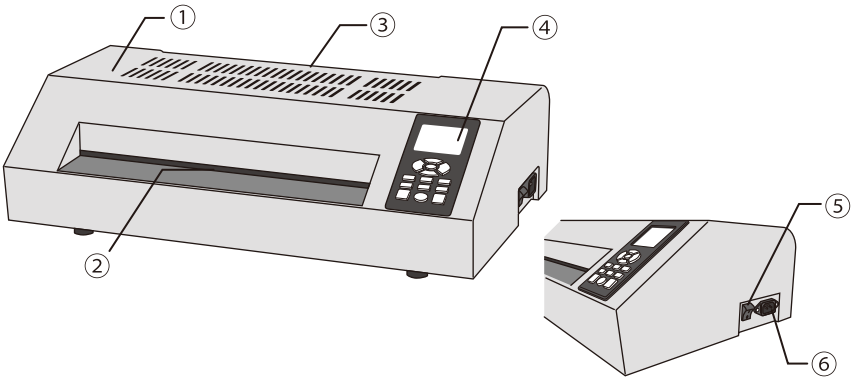




2.各部の名称と機能

各部の名称

①カバーケース
②挿入口
③排出口
④操作パネル
⑤電源スイッチ（本体右側面部）
⑥インレットソケット（本体右側面部）



各部の機能

❶ON/OFFボタン
ON/OFFボタンを押すと、ヒーターとモーターが動作し、操作パネル上のボタンが操作可能となります。

❷MODEボタン
モード画面に切り替わります。(P5)

❸REVボタン
ブザーが鳴り、ローラーが逆転します。

❹MEM(MEMORY)ボタン
ON/OFFボタンで最後にOFFにした時の温度と速度の値を呼び出します。

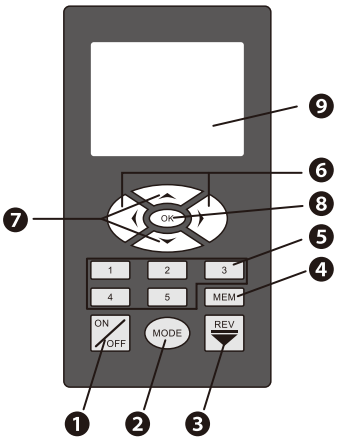
❺プリセットボタン
各フィルム厚に対応した温度と速度に設定をします。

❻◀ボタン / ▶ボタン
温度の設定値を変更する時に使用します。

❼▲ボタン / ▼ボタン
速度の設定値を変更する時に使用します。

❽OKボタン
温度と速度の設定変更をした時、モード画面での操作を決定する時に使用します。

❾液晶パネル
本機の状態を表示します。



⚠注意

本機は、海外向けの製品と兼用の仕様になっているため、液晶パネルに80mic.・125mic.・175mic.などの表示がされます。
弊社は、日本国内では80mic.・125mic.・175mic.のフィルムを標準品として取り扱っておりませんのでご注意ください。

3.ラミネート加工上の注意

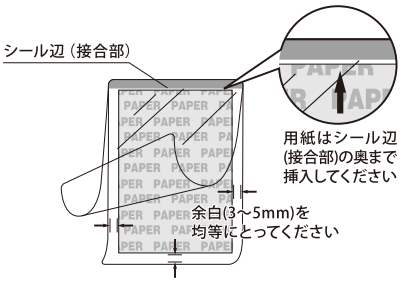
ラミネートは熱を加えて圧着しますが、操作の手違いなどにより失敗したり、ラミネートフィルムを巻き込んだりする可能性が有ります。次のようなラミネート加工はやめてください。

<ラミネートされるものについて>

●ラミネートは紙(写真を含む)専用です。金属・ビニール製品・布・木片等をラミネートしないでください。また、ラミネートは熱で溶けた樹脂が紙にしみ込み接着しますのでコーティング処理された紙や油分を含むコート紙等は充分な接着が得られず、剥がれなどが発生する恐れがあります。また、水分を多く含む紙(出力直後のインクジェットプリント紙、プリント直後の写真など)をラミネートした場合に細かい気泡の発生や接着不足、波打ち(しわ)状態が発生する恐れがありますので、十分に乾燥した後にラミネートする事をお勧めします。
●感熱紙・クレヨン画など熱により変色・変質する紙をラミネートしないでください。
●可燃物(セロハン等)・軟化しやすい物(塩ビ、ポリエチレン等)を絶対にラミネートしないでください。
●再生することが不可能なような貴重なものをラミネートしないでください。
●ラミネートフィルムを含めて厚さ1.0mm以上になるものをラミネートしないでください。
●紙や写真をはさまないで、ラミネートフィルムだけでラミネートしないでください。

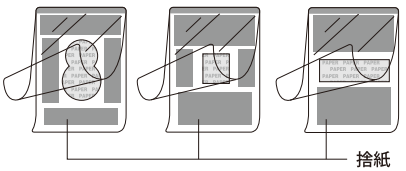
<ラミネートするとき>

●ラミネートする紙を必ずラミネートフィルムのシール辺に押し当てて(先端から2〜3mmまで)セットしてください。
●必ずラミネートフィルムはシールされた側(接合部)からラミネーターに入れてください。
●ラミネートする前に、同じような紙質のものでテストラミネートを行って、温度状況を確認してからラミネートすることをお勧めします。
●15分以上ラミネートしない時は、ON/OFFボタンをオフにしてください。



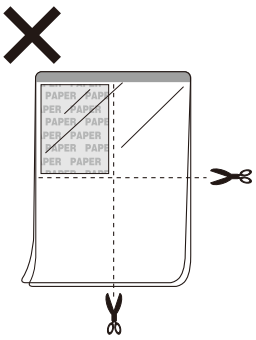
<ラミネートフィルム>

●ラミネートフィルムの特性が合わないとトラブルの原因となることがありますので、必ず当社純正ホットラミ用ラミネートフィルム『CPリーフ』をご使用ください。詳細に関しては販売店または当社ヘルプデスクにお問い合わせください。
●絶対に片面のみのラミネートはしないでください。
●最適なサイズのラミネートフィルムがない場合は、大きめのラミネートフィルムを使用して捨て紙を空いたスペースに入れてラミネート加工してください。ラミネート加工後、サイズに合せてカットしてください。

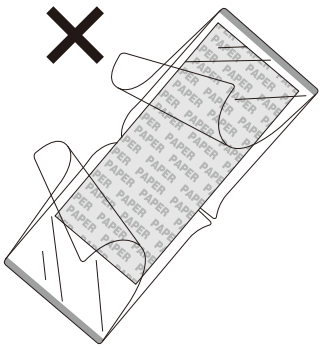


⚠禁止

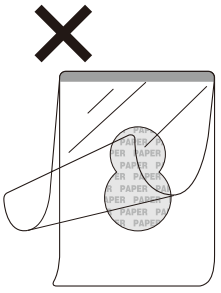
ご注意ください。故障の原因になります。



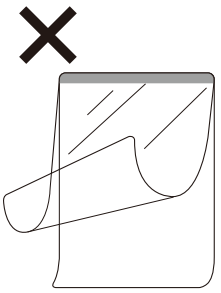
ラミネート加工前の
フィルムカットは禁止



ラミネートフィルムの
継足は禁止



用紙とラミネートフィルム
のサイズが合わないもの
や余白の多いは禁止

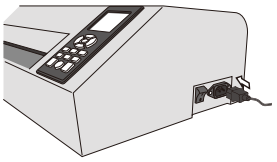


ラミネートフィルム
のみの使用は禁止

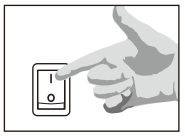
4.ご使用方法

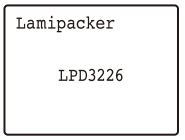
1) リアトレーのセット
ラミネーター本体の後方にリアトレーを取り付けます。

2) 電源コードの接続
電源スイッチがオフ(○)側になっていることを確認してください。付属の電源コードを本体右側面部のインレットソケットにしっかりと接続した後、コンセント(AC100V)に差し込みます。

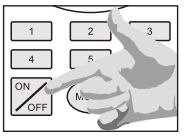


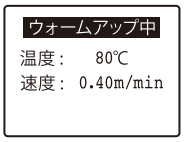
3) 主電源投入
本体右側面部の電源スイッチをオン(I)側へ押して主電源を入れます。
液晶パネルに「LPD3226」と表示されて、ブザーが鳴ります。





4)ラミネート準備
操作パネル上のON/OFFボタンを1回押して電源をONにします。ブザーが鳴り、液晶パネルには「ウォームアップ中」、「温度:80℃」、「速度:0.40m/min」が表示（標準画面）されて予熱を開始します。また、液晶パネルの「ウォームアップ中」が点滅を始めます。





5) 温度と速度の設定
使用するラミネートフィルムの厚みに応じて、プリセットボタンを押すと下表の設定が自動で選択されます。温度の微調整を行う場合は、◀ボタンと▶ボタンを押し、速度の微調整を行う場合は、▲ボタンと▼ボタンを押します。最後にOKボタンを押して設定を確定します。

プリセットボタン	フィルム厚(mic)	設定温度(℃)	設定速度(m/min)
1	80	110	1.10
2	100	120	1.20
3	150	130	1.10
4	250	145	0.50
5	350	150	0.40

※上記設定値は、コピー用紙に適した参考設定値になります。室温や用紙の厚みによって設定を変更してください。
※加工後のラミネートフィルムの状態によって温度や速度の調節を行ってください。

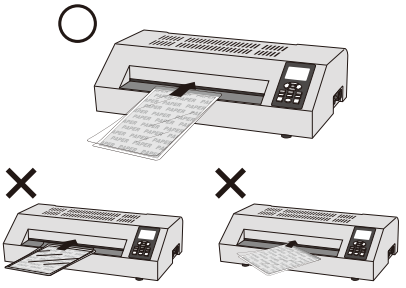
6) ウォームアップ完了
予熱が完了しましたら、液晶パネルに表示されている「ウォームアップ中」が「READY」に変わり、ブザーが鳴って、ラミネート可能をお知らせします。

⚠注意

ヒートローラーが一定温度まで温まると、冷却ファンは回転を開始します。

7) ラミネート加工開始
ラミネートフィルムをシール辺（接合部）からラミネーターの挿入口にまっすぐに挿入します。

8) ラミネート加工終了
ラミネート加工されたラミネートフィルムが後方の排出口から排出されます。取り出して平らな場所で常温になるまで冷ましてください。
連続してラミネート加工する時は、必ず加工されたラミネートフィルムを排出口から取り出した後で、次のラミネートフィルムを挿入してください。



5.モード画面と各種機能について

＜REVボタン＞

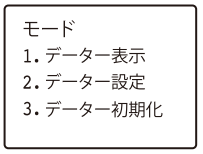
ラミネート加工を中止したい場合は、REVボタンを押します。液晶パネルに「逆転」と表示され、ブザーが鳴り、ローラーが逆転してラミネートフィルムを挿入口へ排出します。

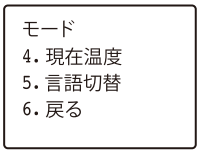
＜MEM(MEMORY)ボタン＞

MEMボタンを押すと、ON/OFFボタンを最後にOFFにした時の温度と速度を呼び出します。

＜MODE機能＞

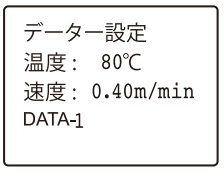
MODEボタンを押すとモード画面に切り替わります。
モード画面では、各機能の設定が出来ます。
※各機能の設定途中でMODEボタンを押すとモード画面に戻ります。





1. データー表示：データー設定（本項目２.参照）で記憶させた9種類の温度と速度を表示し選択できます。
   ❶MODE ボタンを押して、モード画面に切り替えます。
   ❷▲ボタンと▼ボタンで「データー表示」を選択しOKボタンを押します。
   ❸▲ボタンと▼ボタンで変更したい温度と速度をDATA-1～DATA-9の中から選択します。
   ❹OKボタンを押すと選択した温度と速度に変更されます。
   ※初期状態のDATA-1~DATA-9にデーターは何も入っていません。

2. データー設定：任意の温度と速度をデーターとして記憶させます。
   記憶させた設定は、「データー表示」で呼び出せます。
   ❶標準画面で記憶させる温度と速度を設定します。
   ❷MODEボタンを押して、モード画面に切り替えます。
   ❸▲ボタンと▼ボタンで「データー設定」を選択し、OKボタンを押します。
   ❹▲ボタンと▼ボタンで任意の温度と速度を記憶させるDATA-1~DATA-9を選択します。
   ❺OKボタンを押すと、任意の温度と速度が記憶されます。



3. データー初期化：記憶されているDATA-1～DATA-9の温度と速度を初期状態に戻します。
   ❶MODEボタンを押して、モード画面に切り替えます。
   ❷▲ボタンと▼ボタンで「データー初期化」を選択し、OKボタンを押します。
   ❸液晶パネルに「初期化」が表示されますので、OKボタンを押してください。
   ❹ブザーが鳴り、「LPD3226」の表示がされ、データーが初期化されます。
   ※データー初期化を行ってもMEMボタンに記憶された温度と速度は初期状態に戻りません。

4. 現在温度：標準画面にヒートロールの現在温度が表示されます。
   ❶MODEボタンを押して、モード画面に切り替えます。
   ❷▲ボタンと▼ボタンで「現在温度」を選択し、OKボタンを押します。
   ❸標準画面にヒートロールの現在温度が表示されます。
   ※現在温度の表示を解除する時はOKボタンを押してください。

5. 言語切替：液晶パネルに表示する言語を切り替えます。
   ❶MODEボタンを押して、モード画面に切り替えます。
   ❷▲ボタンと▼ボタンで「言語切替」を選択し、OKボタンを押します。
   ❸▲ボタンと▼ボタンで日本語と英語から言語を選択します。
   ❹OKボタンを押すと言語が切り替わります。
   ※初期状態は日本語になります。

6. 戻る：モード画面から標準画面に戻ります。
   ❶MODEボタンを押して、モード画面に切り替えます。
   ❷▲ボタンと▼ボタンで「戻る」を選択し、OKボタンを押します。
   ❸モード画面から標準画面に戻ります。

   ※標準画面：P4の第４項を参照してください。

＜スタンバイモード＞

各スイッチを操作しない状態やラミネート加工をしていない状態が約15分続くと、ブザーが鳴って自動的にスタンバイモードに切り替わります。スタンバイモードは液晶パネルに「スタンバイ」と表示され、モーターは回転したまま加熱を中止(OFF)します。
加工を再開する場合は、REVボタンを押して、スタンバイモードを解除してください。
※スタンバイモードに入る約1分前からブザーが断続的に鳴り続け、スタンバイモードに入ることをお知らせします。
解除する時は、REVボタンを押してください。

＜モーターオフモード＞

スタンバイモードに切り替わってから約45分間各スイッチを操作しない状態やラミネート加工をしていない状態が続くと、ブザーが鳴って自動的にモーターオフモードに切り替わります。モーターオフモードは液晶パネルに「モーターオフ」と表示され、速度が「OFF」に変更されモーターと冷却ファンの回転を中止します。
加工を再開する場合は、REVボタンを押して、モーターオフモードを解除してください。

6.電源をきる

作業が終了しましたら、操作パネル上のON/OFFボタンを押して電源をOFFにしてから本体右側面部の電源スイッチをオフ(◯)側にし、主電源をきります。主電源をきってから、電源プラグをコンセントより外します。

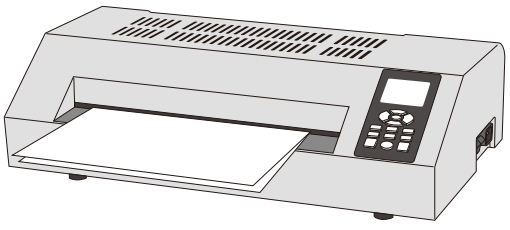
⚠注意

●ご使用後は本体が十分に冷めてから収納してください。
●押入れなどのホコリの多い場所、高温多湿な場所に保管しないでください。

7.ローラー清掃

ラミネート加工が終了しましたら、ローラーの簡単な清掃を行ってください。ローラーが汚れていますと巻き込みの原因となりますので、加工後は必ずクリーニングを行って汚れを取り除いてください。また、古くなった汚れは非常に取り難くなりますので、こまめに清掃を行ってください。

1) カレンダーやカタログ等(中手の厚さ)の用紙を二つ折りにし、折り目の方向からラミネーターに挿入します。
2) これを数回繰り返してください。



⚠注意

ローラー清掃の際にコピー用紙などの薄手の用紙を使用しますと、巻き込む恐れがありますので、使用しないでください。

8.困ったときには

こんな時	確認してください	処置方法
電源が入らない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグをコンセントに正しく入れ、電源を入れ直してください。
	電源コードが正しくインレットソケットに入っていますか？	電源コードをインレットソケットに正しく入れ、電源を入れ直してください。
予熱が完了しない	液晶パネルは表示していますか？	電源を入れ直してください。
	クーラーや気温の低い屋外で使用していませんか？	予熱時間は設置場所の気温/室温や温度設定により変化しますのでしばらくお待ちください。
	液晶パネルに「スタンバイ」、または「モーターオフ」が表示されていませんか？	スタンバイモード、またはモーターオフモードが作動しています。REVボタンを押してスタンバイモードまたはモーターオフモードを解除してください。
ラミネートフィルムが挿入できない	液晶パネルに「モーターオフ」が表示されていませんか？	モーターオフモードが作動しています。REVボタンを押してモーターオフモードを解除してください。
ラミネート加工後にラミネートフィルムが波打つ、変形する	設定温度は適正ですか？	温度が高い場合に現れる現象です。設定温度を下げて5分以上待ってからラミネートしてください。 改善されない場合は温度調整を繰り返してください。
	インクジェット方式プリンターの印刷物ですか？	印刷物を6～24時間程度放置しインクを完全に乾燥させてからラミネート加工してください。
ラミネート加工後にラミネートフィルムが白く曇る	液晶パネルに「ウォームアップ中」が表示されていませんか？	液晶パネルに「ウォームアップ中」の表示がしている場合は予熱中のため「READY」に変わるのを待って再度ラミネート加工してください。
	設定温度は適正ですか？	設定温度を5℃程度上げて予熱が完了するのを待ってから再度ラミネート加工してください。
	設定速度は適正ですか？	設定速度を0.05m/min程度下げて、再度ラミネート加工してください。
	液晶パネルに「スタンバイ」が表示されていませんか？	スタンバイモードが作動しています。REVボタンを押してスタンバイモードを解除してください。
ラミネート加工後ラミネートフィルムの表面が汚れている	ローラーの清掃をされていますか？	ローラーの清掃をしてください。清掃方法は本書の6ページをご覧ください。
ラミネートフィルムが排出口から出てこない	ラミネートフィルムが本体内に詰まっています。	直ちに電源を切って電源プラグを抜いてお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。 ご不明な場合は当社ヘルプデスクまでご連絡ください。

9.機械仕様

商品名	ラミパッカー LPD3226 Meister6
最大ラミネート幅	330mm
最大ラミネート厚	1.0mm(フィルム厚含む)
ラミネート速度	0.40～1.50m/min(50/60Hz)
温度調節範囲	常温,80～160℃
ウォームアップタイム	約10～15分
電源電圧	AC100V(50/60Hz)
消費電力	1000W
本体サイズ(mm)	530(W)×305(D)×155(H)
本体重量	17.2kg

保証規定

ラミパッカーLPD3226は、厳密な品質管理のもとに生産され、検査に合格し出荷された製品です。
しかし、通常のご使用において万一故障や調整の必要が生じた場合は保証規定に従い保証を致します。

1. 保証期間中に取扱説明書記載通りの正常な使用状態において、万一故障が発生した場合、保証書を添えて当社または販売店へお持ちください。無償で修理を致します。
2. 次の場合は保証期間中でも有償修理となります。
   a) 取扱説明書記載通りの取扱いではない、使用上の誤りまたは改造や不当な修理による故障および損傷。
   b) 火災・地震・水害・落雷などの天災地変や公害や異常電圧などの外部要因による故障および損傷。
   c) ご使用中に生じた傷等の外観上の変化。
   d) 当社純正ラミネートフィルム以外のフィルム使用が原因であると判断される故障および損傷。
   e) 保証書の提示がない場合、保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入および捺印がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. ラミネート加工に失敗した場合やラミネートした写真等の表面に気泡が発生した場合などいかなる場合においても内容物（印刷物や写真など）の保証は致しかねます。
4. 修理依頼品および保守用部品の持参・持ち帰りの交通費などの費用や、発送および返送する場合の送料および諸費用はお客様負担となります。
5. 保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造中止後5年間です。
6. 本保証書は日本国内でのみ有効です。
7. この保証書に従わなかった場合、機械の安全性能が損なわれる事があります。

☆本規定は上記条件において無償修理をお約束するもので、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理等は販売店または当社にお問い合わせ下さい。

ラミパッカー保証書

本書は保証期間内に正常なご使用で生じた故障について、取扱説明書に記載の保証規定に従い無償での修理を保証いたします。
故障した機械に本保証書を添えてお申し出下さい。

商品名	ラミパッカー LPD3226
M/C No.	
保証期間	ご購入日より１年間 ご購入日　　年　　月　　日

お客様名	
ご住所	
電　話	（　　）

販売店名・住所

印

FUJIPLA フジプラ株式会社
〒104-0041 東京都中央区新富1丁目18番8号 RBM築地スクエア